令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	一般社団法人パペットナビゲート
施設名	人形劇場とらまる座
内定額	11,008　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型（公演・人材・普及）が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　業　名	実施日程	実施会場
公-01	定期人形劇公演事業1（招聘プロ劇団公演）	2025年5月21日 ～2026年3月29日	人形劇場とらまる座
公-02	定期人形劇公演事業2（委託プロ劇団公演）	2025年4月12日 ～2026年3月21日	人形劇場とらまる座
公-03	特別公演事業1（人形劇2劇団共同創作プロデュース公演）	2025年5月3日～6日	人形劇場とらまる座
公-04	特別公演事業2（海外・国内劇団合同創作公演）	2025年7月20日・21日	人形劇場とらまる座
人-01	海外人形劇ワークショップ～ソフィア人形劇場のパペッティア・セミナー～	2025年7月18日 ・19日	人形劇場とらまる座
人-02	新作・実験作 トライアルプログラム2025	2025年7月18日～ 2026年3月22日	とらまる 人形劇ミュージアム
人-03	香川県・東かがわ市アマチュア劇団育成事業	2025年6月5日～ 2026年3月8日	人形劇場とらまる座
普-01	人形劇小作品公演事業（劇場外公演）	2025年4月5日～ 2026年3月27日	とらまる人形劇 ミュージアム、ほか
普-02	東かがわ市内人形劇巡回公演事業	2025年9月2日～ 2026年3月4日	東かがわ市内 こども園
普-03	東かがわ市小学生人形劇団育成事業	2025年4月22日～ 2026年3月10日	東かがわ市立 大内小学校、ほか
普-04	地域文化会館アウトリーチ人形劇イベント	2025年10月13日 2026年1月17日	交流プラザ、 引田公民館

（2）〔基礎データ〕

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項　　目			令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業		19	20	19
		公演事業	9	7	7
		（内、本助成対象事業本数）	9	3	4
		人材養成事業	4	8	5
		（内、本助成対象事業本数）	3	3	3
		普及啓発事業	6	5	7
		（内、本助成対象事業本数）	6	4	4
		共生社会事業			
		（内、本助成対象事業本数）			
		その他　内容：　記入してください			

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	6	2	2
	ホール名：とらまる座ホール　座席数：245	6	2	2
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項　目			令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数		20,149	18,030	18,924
		公演事業	10,235	8,165	7,953
		人材養成事業	307	625	598
		普及啓発事業	9,113	8,880	9,994
		共生社会事業			
		その他　内容：　共催・提携	494	360	379
	貸館事業入場者・参加者数		180	135	119
	その他　内容：　記入してください				
	計		20,329	18,165	19,043
開館日数			176	135	173
施設の利用可能日数　（＝365－（保守点検日数+休館日数））			283	207	283
施設の利用日数			170	132	167
施設の利用率(%)　（＝利用日数/利用可能日数）			60.1%	63.8%	59.0%

備考	令和6年度はとらまる座改修休館(3ヵ月)により利用可能日数が通常より少ない

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	8	134	10,235	8						
	共催・提携公演（※2）	3	8	494	2					1	
	貸館公演	1	4	180	1						
	計	12	146	10,909							
令和6年度	主催公演（※1）	7	113	8,165	7						
	共催・提携公演（※2）	3	8	360	2					1	
	貸館公演	1	2	80	1						
	計	11	123	8,605							
令和7年度	主催公演（※1）	7	115	7,953	7						
	共催・提携公演（※2）	3	8	399	2					1	
	貸館公演	1	2	119	1						
	計	11	125	8,471							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

- 公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
- 入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
- 有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
公-01	定期人形劇公演事業1（招聘プロ劇団公演）	目標値	9,072	70.0%	①観客満足度（5段階） 大変満足　5　4　3　2　1　不満 ＊料金と質のバランスについて別途検証 3安い　2ちょうどいい　1高い	4.2 2.1	4.5 2.2
		実績値	5,328	44.2%	②発信・影響力 地域（東かがわ市）外観客動員率について 5：85%以上／4：70%以上／3：50%以上 ／2：30%以下／1：10%以下	4	5 （85.3%）
					③企画力 質の高い企画のための情報収集 5：積極的に外部と接触／4：人的ネットワーク活用 ／3：専門誌・資料活用／2：業者情報／1：なし	5	5
					④制作力 プロ団や芸術家による高レベルな公演 5：年間を通じて開催／4：年2～3回実施 ／3：年1回実施／2：まれに実施／1：ほぼなし	5	5
公-02	定期人形劇公演事業2（委託プロ劇団公演）	目標値	4,200	66.7%	①観客満足度（5段階） 大変満足　5　4　3　2　1　不満 ＊料金と質のバランスについて別途検証 3安い　2ちょうどいい　1高い	4.2 2.1	4.5 2.2
		実績値	1,819	28.1%	②発信・影響力 地域（東かがわ市）外観客動員率について 5：85%以上／4：70%以上／3：50%以上 ／2：30%以下／1：10%以下	4	5 （86.1%）
					③企画力 質の高い企画のための情報収集 5：積極的に外部と接触／4：人的ネットワーク活用 ／3：専門誌・資料活用／2：業者情報／1：なし	5	5
					④制作力 プロ団や芸術家による高レベルな公演 5：年間を通じて開催／4：年2～3回実施 ／3：年1回実施／2：まれに実施／1：ほぼなし	5	5
公-03	特別公演事業1（人形劇2劇団共同創作プロデュース公演）	目標値	540	75.0%	①観客満足度（5段階） 大変満足　5　4　3　2　1　不満 ＊料金と質のバランスについて別途検証 3安い　2ちょうどいい　1高い	4.6 2.3	4.7 2.1
		実績値	379	52.6%	②発信・影響力 地域（東かがわ市）外観客動員率について 5：85%以上／4：70%以上／3：50%以上 ／2：30%以下／1：10%以下	5	5 （90.3%）
					③企画力 質の高い企画のための情報収集 5：積極的に外部と接触／4：人的ネットワーク活用 ／3：専門誌・資料活用／2：業者情報／1：なし	5	5
					④制作力 本企画相当の特別プログラム公演 5：年間を通じて開催／4：年2～3回実施 ／3：年1回実施／2：まれに実施／1：ほぼなし	4	4
公-04	特別公演事業2（海外・国内劇団合同創作公演）	目標値	410	85.4%	①観客満足度（5段階） 大変満足　5　4　3　2　1　不満 ＊料金と質のバランスについて別途検証 3安い　2ちょうどいい　1高い	4.5 2.1	4.7 2.3
		実績値	131	27.3%	②発信・影響力 地域（東かがわ市）外観客動員率について 5：85%以上／4：70%以上／3：50%以上 ／2：30%以下／1：10%以下	5	5 （86.1%）
					③企画力 質の高い企画のための情報収集 5：積極的に外部と接触／4：人的ネットワーク活用 ／3：専門誌・資料活用／2：業者情報／1：なし	5	5
					④制作力 本企画相当の特別プログラム公演 5：年間を通じて開催／4：年2～3回実施 ／3：年1回実施／2：まれに実施／1：ほぼなし	4	5

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書

②（評価）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	一般社団法人パペットナビゲート
施設名	人形劇場とらまる座
内定額	11,008　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書①（基礎データ・公演事業の実績値等)」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価
公-01	定期人形劇公演事業 1 （招聘プロ劇団公演）	集客　入場者数の目標達成率＝58.7% ①観客満足度　有効回答数 325 件において 5 段階評価平均 4.5 となり目標を上回った。 ②発信影響力　有効回答数 344 件において 東かがわ市外の地域からの来訪者率が 85.3%となり、目標を達成した。 ③企画力 統括団体(全国専門人形劇団協議会)の総会、 その他連携事業等において積極的な情報収集 に努めた。 ④制作力 全国より招聘したプロ劇団の公演を、 年間を通して計 67 公演開催した。
公-02	定期人形劇公演事業 2 （委託プロ劇団公演）	集客　入場者数の目標達成率＝43.3% ①観客満足度　有効回答数 115 件において 5 段階評価平均 4.5 となり目標を上回った。 ②発信影響力　有効回答数 138 件において 東かがわ市外の地域からの来訪者率が 86.1%となり、目標を上回った。 ③企画力 委託劇団の活動状況や、創作過程での確認等 積極的な情報収集に努めた。 ④制作力 委託プロ劇団の公演を、 年間を通して計 36 公演開催した。

公-03	特別公演事業１（人形劇２劇団共同創作プロデュース公演）	集客　入場者数の目標達成率＝70.1% ①観客満足度　有効回答数 139 件において 5 段階評価平均 4.7 となり目標を上回った。 ②発信影響力　有効回答数 154 件において 東かがわ市外の地域からの来訪者率が 90.3%となり、目標を上回った。 ③企画力 当方＋共同創作 2 劇団により運営委員会を設置し定期的に 開催。制作状況の確認等、積極的な情報収集に努めた。 ④制作力 本特別プロデュース公演を、4 回開催した。 （アウトリーチとして東京にて 2 公演開催）
公-04	特別公演事業２（海外・国内劇団合同創作公演）	集客　入場者数の目標達成率＝32.0% ①観客満足度　有効回答数 65 件において 5 段階評価平均 4.7 となり目標を上回った。 ②発信影響力　有効回答数 79 件において 東かがわ市外の地域からの来訪者率が 86.1%となり、目標を上回った。 ③企画力 本公演の企画団体および舞台技術スタッフ と連絡を密に取り合い、積極的な情報収集に 努めた。 ④制作力 芸術性の高い海外劇団公演を、3 公演開催した。 （本助成対象外の海外劇団公演も別途 2 企画 4 公演開催）

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（2）自己評価

評価項目①：創造性・企画性

（※1）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R 7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
公演事業	①観客満足度（公演アンケート） ②専門家（人形劇統括組織、他の劇場・公立文化施設管理職等）による公演事業についての総合評価 （企画力・自主性・創造性・牽引力・実務技能：技術・接遇）	①全公演における観客満足度の平均値 4.2 以上 ②5 項目・5 段階評価における評定平均値および総合評価 4 以上 総評記述における高評価	①全公演における観客満足度 有効回答数 644 件において 5 段階評価平均 4.6 となり目標を上回った。 ②全国専門人形劇団協議会 理事およびアシテジ（国際児童青少年舞台芸術協会）日本センター 理事 による評価を受けた。 5 項目・5 段階評価における 評定平均値= 4.5 （前者 4.6／後者 4.4） 総合評価= 5（前者 5／後者 5） 総評記述においても、優れた企画内容、人形劇拠点としての責務、企画実務量、将来における期待等の好評記述をいただいた。

人材養成事業	①参加者満足度（育成企画参加アンケート） ②講師、視察員等による育成事業についての評価 （企画主旨・マネジメント・育成成果(期待度)）	①育成企画における参加者満足度の平均値 4.2 以上 ②3 項目・5 段階評価における評定平均値および総合評価 4 以上 総評記述における高評価	①育成企画参加者の満足度 海外ワークショップ…平均値 4.5 トライアルプログラム…平均値 4.9 目標を大きく上回った。 ②育成企画の講師および全国専門人形劇団協議会 視察理事 2 名から評価を受けた。 3 項目・5 段階評価における 評定平均値= 4.7（両者とも 4.7） 総合評価= 5（両者とも 5） 目標を大きく上回った。
普及啓発事業	普及成果分析（普及企画実施アンケート） 企画の実施会場職員、行政職員等による普及企画についての評価 （地域における有意性・継続希望・将来展望）	3 項目・5 段階評価における評定平均値および総合評価 4 以上 総評記述における高評価	普及事業：地域会館公演の会場職員および小学校人形劇クラブ担当教員から評価を受けた。 地域会館職員 2 名の評価 3 項目・5 段階評価における 評定平均値= 4.0（両者とも 4.0） 総合評価= 4（両者とも 4） 集客は少なかったものの、地域文化の広まり：普及意義について将来的な期待が寄せられた。 人形劇クラブ担当教員の評価 3 項目・5 段階評価における 評定平均値= 4.3 総合評価= 4 本格的な人形劇を体験できたこと、他地域や高齢者施設等での公演活動について好評を得られた。
共生社会事業			

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	本年はとらまる公園内の総合体育館が改修伴う休館中であり、遠足団体来訪における雨天の待機場所が減少することから、当人形劇企画においても受け入れ団体数を例年より制限＆追加公演は実施しない…といった運営制限を余儀なくされ、定期公演においては公演数・観客数とも例年より減少となった。 しかしながら、全国の多様なプロ劇団の公演を年間を通じて 100 回以上開催する当劇場の公演事業は、量・質ともに国内人形劇中枢機関から高い評価を得ることができた。 また、観客動態調査アンケートの分析より、とらまる座の一般観客層の多数は子供連れ家族グループであるが、観客の約 50%は初めての来場者である。この「初めて人形劇の舞台公演を観た大人」が高い満足度を得られていることは、地域特有の劇場の存在意義を高め、地域内外における人形劇文化の魅力啓蒙、地域の芸術文化振興に大きく寄与するものであったと捉えている。

人材養成事業	
自己評価	当方の海外人形劇ワークショップは、参加者対象として国内プロ人形劇団員を想定しているが、本年のソフィア人形劇場(ブルガリア)のワークショップでは、人形劇ジャンル以外のパフォーマーや一般人の参加が多かった。講師および参加者の人柄の良さもあり、全体として和やかでかつ創造性に満ちた雰囲気に場が満ちており、ワークショップ内容そのものの意義に加え、人形劇と他ジャンルとの交流・相互刺激の機会となったのは大いに意義深いものであった。 トライアルプログラムは、新作・実験作の創作・公演機会とともに、ディスカッションを併催して計画・実施。参加者(6 劇団 12 名)のアンケートでは、企画主旨・運営・現場対応・ディスカッションにおいて、満足度 5 段階評価における「5」回答をほぼ全ての参加者から得られ、国内人形劇統括組織である「全国専門人形劇団協議会」の視察員(理事)からも、企画意義についての高い評価と継続希望の意見が寄せられた。企画意図として人形劇以外のジャンルからの参加も盛り込んでおり、今回は日程調整の関係から見送りとなったが、演劇や大道芸パフォーマーからの問い合わせも前年より増え、本企画の展望における手応えを少しずつ実感できている。

普及啓発事業	
自己評価	劇場外小作品公演事業：人形劇ミュージアムにおける人形劇公演は、観客は間近に舞台鑑賞をすることができ、上演後には人形や舞台の構造の解説など演者とコミュニケーションを取ることも容易であり、人形劇ミュージアムの付加価値の創出と共に、普及啓発公演としての意義が大きい。また、当企画は運営団体として創造性向上にも寄与しており、本年は人形劇専門員スタッフ作品において新作 2 本を制作・上演した。 とらまる座施設外における地域会館での人形劇イベントは、とらまる座が位置する旧大内町地区外での人形劇文化振興を図る企画として行政からも期待が寄せられている活動であるが、本年の開催時期に地域内でインフルエンザが流行し、集客には厳しいものがあった。来訪入場者および施設職員には好評を得られたが、開催時期の設定と広報戦略については次回以降の課題となっている。 小学生劇団の育成事業では、アウトリーチ人形劇イベントにてプロ劇団と同一会場で上演する機会を計画。子どもたちの創造性育成に有意義であるとともに、普段劇場に訪れない保護者に対し人形劇の魅力を啓蒙できる意義が大きい。地域特有の文化事業の一端を子ども達の活動が担うという取組みは住民へのアピールも大きく、カーニバル・とらまる座での上演発表には多くの地元民が訪れ、地域文化教育の振興・啓蒙にも貢献できるものであった。

共生社会事業	
自己評価	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・(国際プレゼンスの向上) 海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流) アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組) 在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
専門家（人形劇統括組織、他の劇場・公立文化施設管理職等）による国際性についての評価 （国際性に優れている　５　４　３　２　１　国際性なし） 当劇場の自主事業（公演・育成・普及）について実施資料・ヒアリング、評価シート（5 段階回答項目および自由記述項目あり）による事業評価を依頼。	評定値３以上および総評記述における高評価	全国専門人形劇団協議会 理事およびアシテジ（国際児童青少年舞台芸術協会）日本センター 理事 により、当方の実施事業における国際性について評価を受けた。 　評価点…４（５段階） 小規模劇場でありながら、本年の公演事業において年間に３企画７公演（当助成適用外２企画４公演を含む）の海外劇団企画公演を主催実施していること、人材育成事業においても海外芸術家を講師とした人形劇ワークショップを実施していることが高く評価された。

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	本年は公演事業において年間に３企画７公演（当助成適用外２企画４公演を含む）の海外劇団企画公演(国内団体との共同作品含む)を主催。いずれも優れた芸術性をともなう見応えのある作品で、来場者からは「とらまる座の海外作品公演を毎年楽しみにしている。今回もとても良かった。」と好評を寄せられている。海外作品には、一般(国内)作品の公演とは異なる注目点があり、新たな客層の開拓や施設および「東かがわ市」としての対外周知にも有意義であり、国際機関からも高い評価を得られている。しかしながら、集客においては想定をかなり下回り、近年の社会情勢(物価上昇：家庭経済の圧迫にともなう余暇費の縮小)を踏まえた事業計画と効果的な広報戦略の構築は次年度以降に向けての課題となった。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・(文化拠点) 地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携) 地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供) 次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※2）	当館は、主催の人形劇公演(年間 120)で主要な日程がほぼ埋まることと、客席構造の問題(前 5 列がフラットのため大人が集まる状況には不適)により積極的な貸館広報をしていないが、貸館利用に対しては技術的なサポート等を行い、利用者の満足度を高めている。
	・自由設定の観点（任意）（※3）	

（※2）・（※3）…R 7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※4）	目標（値）（※5）	実績（値）
①「東かがわ市民の会」会員数 ②地域アマチュア劇団の創造性向上 ③地域内他の施設でのアウトリーチ企画	①新規入会者 100 名 ②「東かがわ市アマチュア劇団協議会」加盟劇団の新作発表 1 作品以上 ③　10 企画実施（前年 7 企画）	①2025 年度「東かがわ市民の会」新規入会者＝93 名 ／ 達成率 93% ②加盟劇団「わいわいクラブ」、「ゲキダーノ ソーラ」が新作発表発表 ＝新作計 2 作品　／　目標達成 ③地域内他の施設でのアウトリーチ企画 9 企画実施　／　達成率 90%

（※4）・（※5）…R 7 年度評価補助シートから転記すること。

成果報告書　　人形劇場とらまる座

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	アマチュア劇団の育成においては、本年には２劇団が新作を制作・発表し、当方の取組み(ピンポイント講座の開催・活動場所の提供)が劇団の創造性向上に大いに寄与していると評価している。 人形劇場とらまる座／とらまるパペットランドが実施している普及啓発事業では、種々のアウトリーチ活動を含む様々な活動を展開している。本年度の実施事業においても、当地域特有の人形劇文化（人形劇カーニバル・人形劇場とらまる座（とらまるパペットランド)の企画公演等）の魅力を発信・啓蒙、発展を図り、地域特有の文化催事「とらまる人形劇カーニバル」など施設外での上演企画は、地域における活動広報および地域文化振興に寄与し、高齢者施設での上演企画は世代間交流の意義も大きい。本年度の活動ではアウトリーチ人形劇イベントにて小学生劇団がプロ劇団と同一会場で上演する機会として計画し、子どもたちの創造性育成においても有意義な取組みとなった。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・(プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・(アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R 7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
①　人形劇公演の劇団数（プロ劇団） ②創造団体＝観客の交流プログラム参加者数 ③身障者･支援学級等の利用団体における評価	①プロ 25 劇団以上 ②200 名以上 ③施設利用アンケート 5 項目･5 段階評価における評定平均値および総合評価 4 以上。総評記述における高評価。	①2025 年度人形劇公演の劇団数 （プロ劇団） 招聘プロ公演…22 劇団 委託プロ劇団…1 劇団 特別公演…5 劇団 （本助成適用外企画含む） 計 28 劇団　／　目標達成 ②創造団体＝観客の 交流プログラム参加者数 夏休みイベント期において 「人形劇わくわくタイム」実施。 参加者数計＝218 名 ／ 目標達成 ③2025 年度　人形劇場とらまる座における身障者･支援学級等の団体利用…2 団体 劇場内外での誘導対応や配席･車イスの対応等について高評価を得られた。

（※3）･（※4）…R 7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	とらまる座の自主事業は人形劇の主催事業に特化しており、定期公演事業では、地域の人々に対し、本格的な舞台人形劇鑑賞の機会を日常的に提供するため、全年齢対象のプロ劇団人形劇公演を年間 100 回以上（招聘プロ劇団：65 公演＋委託プロ劇団：35 公演を基準とする）開催してきている。当年度は年間 115 公演を実施（本助成適用外公演企画を含む）した。 当劇場の公演企画では、地域やその劇場限定的な劇団の公演ではなく全国各地のプロ劇団の人形劇公演を年間を通じて定期的に開催しており、その特異性が地域圏外からの集客力につながっている。また、さまざまな劇団の作品を種類豊富に提供することは、人形劇文化の奥深さを啓蒙する上で有意義なものであり、リピーター集客戦略としても有効となっている。 とらまる座／とらまるパペットランドの事業では、創造団体と観客との交流機会を様々な形で設けている。本指標については、とらまる座の夏休み公演の付随企画のみであるが、特別公演におけるアフタートークや、劇場ロビーでの自由交流、写真撮影会なども実施。人形劇ミュージアムでの公演では、ステージと観客席が近いこともあり、上演後にはより身近に観客と出演者（創造団体）が交流できる環境となっている。 近年の身障者団体のとらまるパペットランド施設利用として、劇場での舞台作品鑑賞よりも人形劇ミュージアムの見学・体験が好まれる傾向にあるが、本年は支援学級の 2 団体が人形劇鑑賞を利用した。当劇場は社会包摂の観点から多様な観客が同時に舞台鑑賞体験を共有できる機会を重要なものとして捉えている。劇場自体は 30 年以上前の建築設計であり十分なバリアフリー構造ではないが、身障者対応のノウハウは利用者から高く評価されている。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※2）
	・国内人形劇文化中核施設として優れた事業を企画・実施 ・ ・

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
国内人形劇機関＝ ①全国専門人形劇団協議会 ②国際人形劇連盟 UNIMA 日本センター　からの事業評価	当年度の当館実施事業について高評価を得る	当年度の当館実施事業…●公演事業／●育成事業／●普及事業について、（＊本助成適用外企画事業も含む） 全国専門人形劇団協議会 理事およびアシテジ（国際児童青少年舞台芸術協会）日本センター 理事による評価を受けた。 評定項目については 5 段階評価においてほとんどの項目で「5」の評価を得られ、自由記述においても各事業の企画意図や実施事項についての意義が高く評価された。

（※3）・（※4）…R７年度評価補助シートから転記すること。

成果報告書　　人形劇場とらまる座

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	

評価項目と結果については以下のとおり

●公演事業

	（企画力）	（自主性）	（創造性）	（牽引力）	（実務技能：技術・接遇）	（総合評価）
全人協	5	5	4	5	4	5
アシテジ	5	5	3	4	5	5

（自由記述＊要約抜粋）

年間の公演数に驚き。さまざまな劇団のプログラムをこれほど数多く実施するのは本当にすごい。
スタッフの雰囲気が良い。接遇・司会・舞台技術全てできるスタッフは貴重な存在。
出演者、観客への気配りもよく行き届いている。

●育成事業

	（企画主旨）	（マネジメント）	（育成成果(期待度)）	（総合評価）
全人協	5	5	5	5
アシテジ	5	5	5	5

（自由記述＊要約抜粋）

実験的な作品を発表でき、ディスカッションもセットにした企画力が素晴らしい。
参加劇団が相互に交流・刺激し合ってお互いを向上できる仕組みになっているのが良い。
ディスカッションの進め方、雰囲気がとても良い。

●普及事業

	（地域における有意性）	（継続価値）	（将来展望）	（総合評価）
全人協	5	5	5	5
アシテジ	5	5	4	5

（自由記述＊要約抜粋）

少人数体制で劇場施設以外にも年間にこれほどの取組みをしていることに改めて驚き。
普及事業にほとんど収益が無いので自主財源を高める工夫が必要かもしれない。

【評価における所感等】

当初は(評価補助シートでは)国際人形劇連盟 UNIMA 日本センターからの評価を得るとしたが、ウニマからは前年に評価を受けたので、本年はアシテジ（国際児童青少年舞台芸術協会）日本センター理事の中で比較的人形劇界に馴染みのある方にお願いした。ある意味、人形劇の理解者から高い評価を得られることは想定どおりといえるが、今後は人形劇以外の分野の人からの事業評価を得られるように取り組んでいきたい。

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。
本公演事業については前年に引き続き、公演事業の意義・成果を分析するため「観客動態調査アンケート」として、7 月～3 月の全公演において、中学生以上を対象としたアンケートを観客手渡しにて実施した。（＊「文化庁芸術振興費補助金の助成を受けて実施する」の趣旨をアンケート用紙に記載し、また終演時の司会においてもその旨を口頭案内すると、回収率が上がる） 満足度項目においては、回答の 86%が「４」以上の回答（「５」回答が 66%）であった。また、物語構成・美術力・演技力といった芸術性の高さに対する好評の記述も多く、世間一般には「子ども向け」と認識されている人形劇プログラムが大人に対しても高い満足度を得られるものであることが示されたことは、当施設および人形劇界にとって大きな励みになるものと捉えている。 人材育成事業における「新作・実験作トライアルプログラム」は、3 年の構想・試行期間を経て前年度より実施。人形劇を含むアートパフォーマーを対象に新作・実験作の実演機会を有観客環境として提供することと、上演後のディスカッションにおいて創造性を深めることがセットとなった企画である。ディスカッションでは創作意図と実現度の検証や、作品における工夫のポイントを他者を交えて確認していく時間が、進行と雰囲気作りの良さもあって大変有意義だったとの評価が得られている。実演者の創造性・新たな創造性を実践できる機会としての意図、ディスカッションおよび他の実演者との交流も含め、芸術創造性向上に大きく寄与した企画であることは参加者・視察者からの評価にも裏付けられている。 前年に参加した者から、トライアル参加をきっかけとしてその作品構成力が認められ、次期新作の演出を担うことにつながった…とのお知らせを受けたのは企画者冥利に尽きるところであった。

（2）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※1）・（※2）…R7年度評価補助シートから転記すること。
※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※1）	指定管理委託料・事業収入以外の収入（助成金・協賛金・業務受託等）が全収入額の 20%（1600 万円）	広報業務の成果検証ができていない
目標(値)（※2）	25%（2000 万円）	広報戦略の見直し。 広報拡充を実現すべく体制構築。
実績(値)	全収入額 8514 万（パペットランド付帯施設収入含む）のうち、助成金・協賛金・業務受託等の収入額が 2225 万(26%)となった。	紙媒体広報とネット広報のバランス調整に着手。 既存職員の退職があり、広報体制の拡充には至らなかった。
団体の自己評価	外部業務受託の増数により目標達成。	もともとの体制で職員の職務はかなり手一杯の状況のため、業務拡充は困難。

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※1）	他館連携あり	設置者との関係は比較的良好
目標(値)（※2）	新規連携団体との企画を 1 企画以上実施	所轄（教育委員会生涯学習課）以外の課とも連携体制を拡充
実績(値)	「しいの実シアター（島根県)」との初連携により海外作品公演を実施した（＊本助成対象外事業)。	瀬戸内国際芸術祭関連事業にて地域創生課との連携企画を実施。
団体の自己評価	当劇場は定期的に国際演劇フェスティバルを開催しており、今後の連携企画にも期待できる。	当芸術祭にて会場整備された施設の今後の利用についても協議を進めている。

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ) ～ (セ)〉

評価の観点	(オ) 芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	(カ) 長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）	1名	1名
目標(値)（※2）	芸術監督と経営責任者を分担	芸術監督と経営責任者を分担
実績(値)	分担ならず。	分担ならず。
団体の自己評価	運営予算規模と社会情勢（賃金増・経費増）から難しい。	運営予算規模と社会情勢（賃金増・経費増）から難しい。

評価の観点	(キ) 専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	(ク) 職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）	人形劇専門員が3名在中	兼任が多い
目標(値)（※2）	専門員拡充	専門性に則った業務分担できる体制が理想ではあるが予算・施設規模から難しい
実績(値)	拡充ならず。	体制改革ならず。
団体の自己評価	体制拡充は困難であるが、イベント時等において追加人員が必要な際には専門スタッフを委託できるコネクションはある。	運営予算規模と社会情勢（賃金増・経費増）から難しい。

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）	平均年齢は 46 才。 比較的若いといえる？	管理職 4 名のうち 2 名が女性
目標(値)（※2）	今後も継続して若年層の雇用に努める	継続
実績(値)	2026 年度より新規雇用で 23 才、29 才の 2 名の雇用が決定している。	継続
団体の自己評価	若手の雇用は利用者に対する接遇向上にも寄与するものと期待している。	現状はいいバランスである認識を持っている。

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）	一般職員の残業はほぼ無い。 咄嗟の休日・短時間休暇等も取りやすい体制である。	毎年様々な制度･法令ができるが、情報共有・研修等を適宜実施。
目標(値)（※2）	継続	継続
実績(値)	継続	継続
団体の自己評価	職員の就労状況はかなりホワイトと言える…が、労働基準法の制約を受けない法人代表（館長）が肩代わりしている？	部署内研修・情報交換を適宜実施。

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	就業規則に記載あり。 前令和 6 年度研修会参加。	金額・日程・実務内容等を明記した上演確認書（業務確認書）を交わしている。
目標(値)（※2）	継続	継続
実績(値)	ハラスメント関連の時事ニュースなどがあった際には職場内で情報交換・ミーティングを実施。	継続
団体の自己評価	職員の関係・業務遂行コミュニケーションは良好でありハラスメントがそもそも無い…かな…。	当方は業務受託する側でもあるため、委託時においても適正な文書発行に努めている。

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
「東かがわ市とらまるパペットランド」は人形劇専門劇場「人形劇場とらまる座」・体験型博物館「とらまる人形劇ミュージアム」を有し、国内唯一の人形劇の複合・総合施設であり、国内人形劇界における重要拠点として認識されている。当館では、2021 年～2023 年度における 3 カ年計画・特別プロジェクトの様々な特別企画を実施してきた過程を経て、他地域文化施設や運営団体・芸術創造団体との新たなパイプも構築され、人形劇文化と地域の結びつき・地域芸術文化振興・文化による地域創生に寄与する様々な発展的事業プランの実現に向けた知見・ノウハウが蓄積されてきた。本年においても種々の公演事業・育成事業・普及事業を実施し、公立の小規模劇場としては全国随一ともいえる取組みは、観客・企画参加者・専門機関の視察員等からも高い評価を得られ、人形劇～子ども舞台芸術文化の振興には大きく寄与できたものと捉えている。 ただ、本年は、観客動員については総じて想定をかなり下回る結果となったことが今後の計画への課題となった。これには近年の社会情勢の負の部分―情報化社会により人々の心から余裕が失われていることや、経済政策の過渡期にともなう家計の圧迫、少子化の加速などの影響が顕在化してきている可能性が考えられる。このような時代であるからこそ、誰にでも親しみやすい普遍性をもつとともに演劇・美術・音楽といった多要素が結集し、その舞台作品に関わる人間の活力・魅力を観る者に感じさせる総合芸術である人形劇の社会的意義はその重要さを増しているであろうと思われる。 誰もが健やかに生きられる社会形成に資するべく、当館はこれからも人形劇文化と地域文化の発展につながるべく優れた事業を展開、地域文化創造の中核劇場としての役割を果たし、将来にわたりユニークな地域創生と地域活性化の寄与に努める所存である。

備考